





アルコーブ用フェンス部材

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明



-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。


ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

-  **警告**
 - フェンス部材は仕切り用の製品です。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
-  **注意**
 - 壁付け施工の場合は、壁付け部品取付説明書C313を参照してください。
 - この製品はマンション専用の商品です。
 - この製品は形材フェンスT-10専用商品です。
 - アルコーブ用フェンス部材は床面のコンクリート厚さおよび防水層までの距離が80mm以上あることを前もって確認してください。80mm以下だとアンカー用下穴が床面を貫通して防水層の破損、取付強度低下の原因になります。
 - 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

-  **お願い**
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

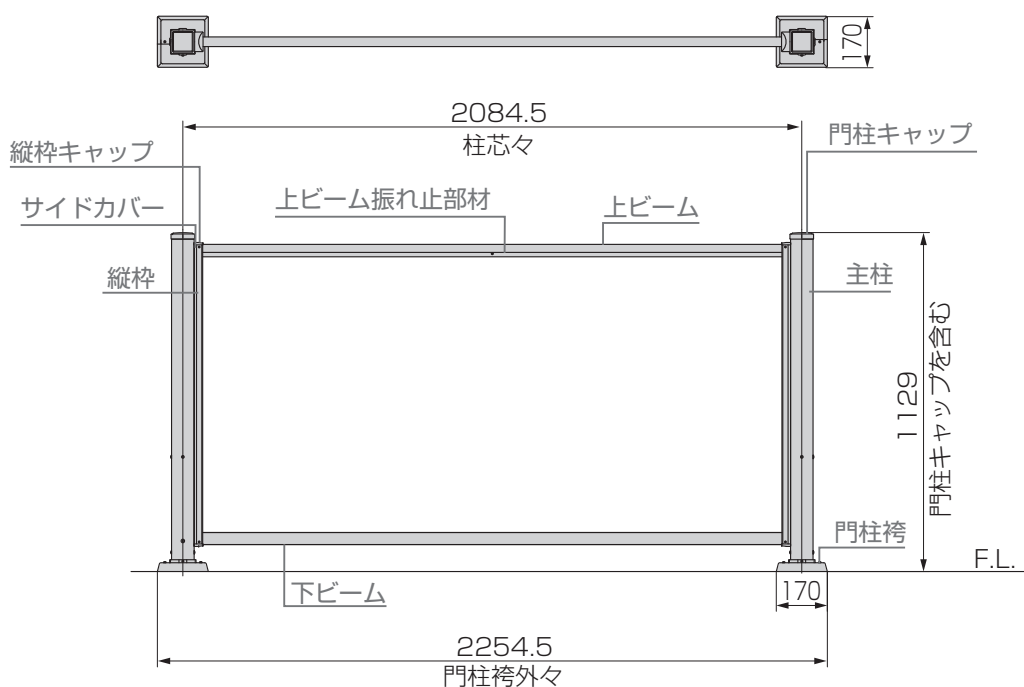
□ 施工上のご注意

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

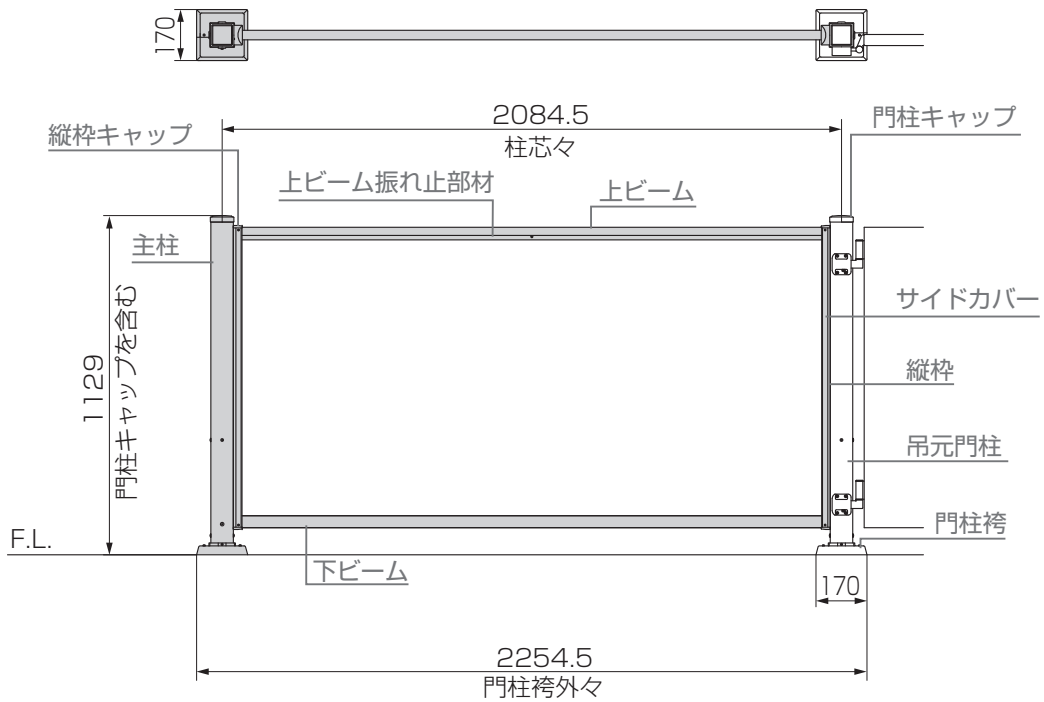
1 基本寸法

1-1 1スパン仕様



1 基本寸法

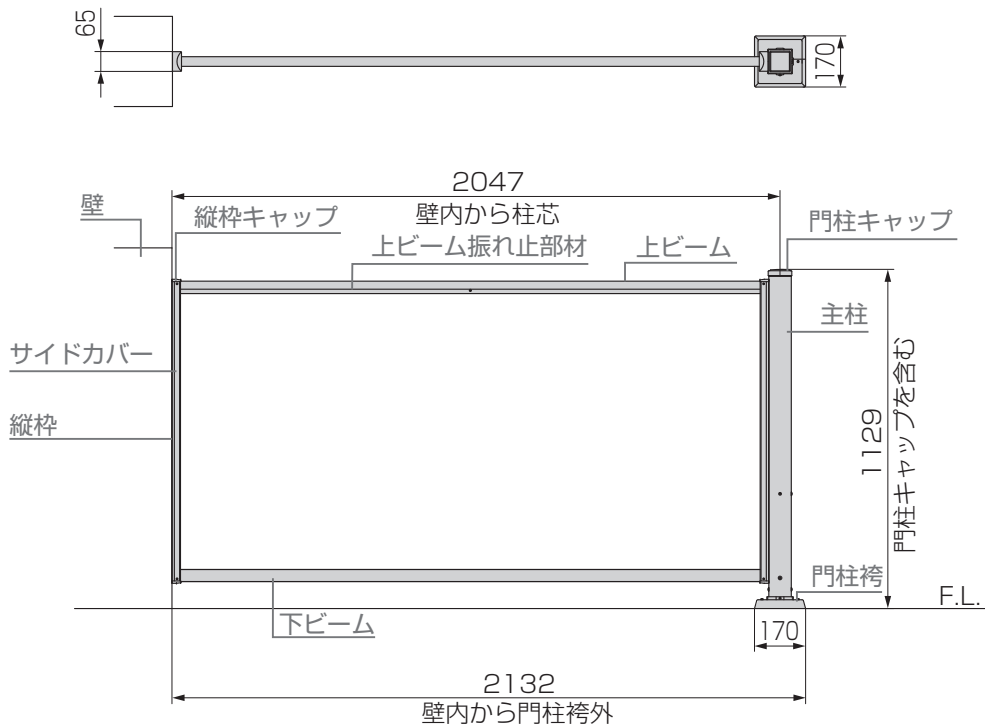
1-2 ベースプレート門柱組合せ仕様



1-3 壁付け仕様

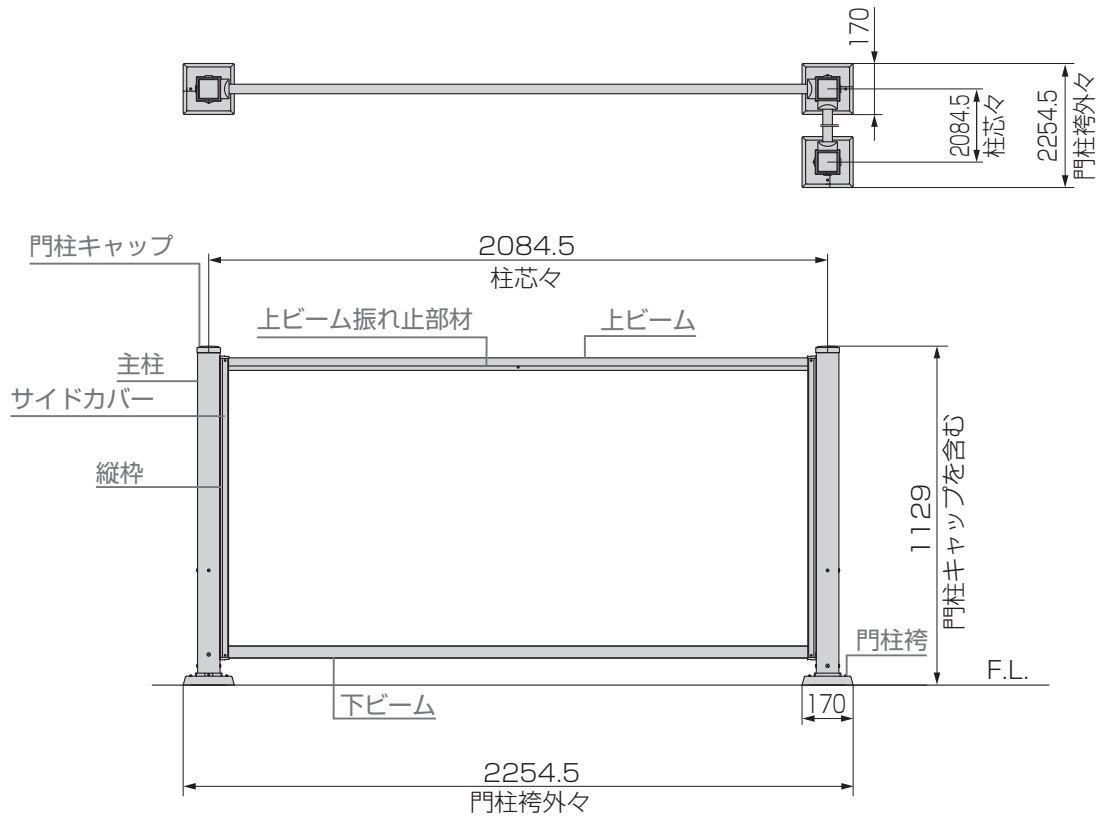
※壁付け仕様の場合は、別売りの壁付け部品が必要になります。

壁側の縦枠取付方法は、取付説明書「アルコープ用フェンス部材T-10（壁付け部品）<C313>」を参照してください。



1 基本寸法

1-4 コーナー仕様



2 オールアンカーの打込み

1:基本寸法図を参考に柱の中心位置を決め、柱中心から60mmの位置に墨出し

2:φ8.5、深さ55の下穴をあける

お願い

●穴内の切粉をエアープンプなどで除去してください。

3:[4a]M8オールアンカー L=70を打込む

4:[4a]M8オールアンカー L=70のナットをスパナ等で外す

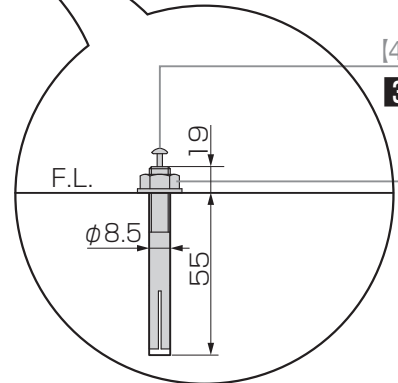
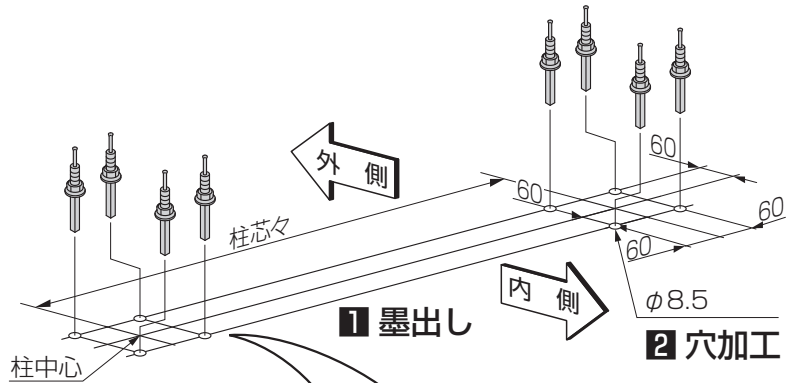
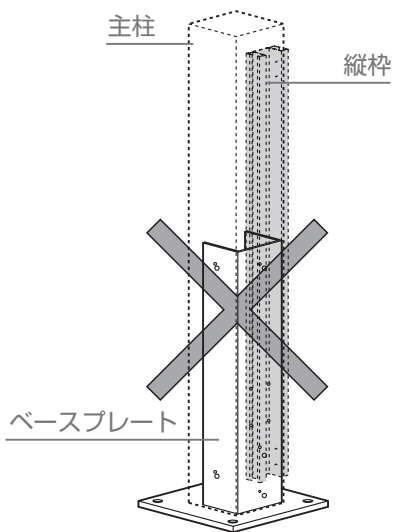
お願い 1

●外したナットは [6-1] 門柱の固定で使用します。なくさないようにしてください。

5:ベースプレートの向きを決めてセット

お願い

●縦枠の取付可能面は決まっています(右図参照)。
下図の向きには取付けないでください。主柱取付用のネジと縦枠取付穴が干渉するため、取付けることができません。



[4a]M8オールアンカー L=70

3 打込む

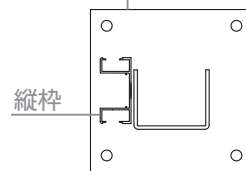
ナット

4 外す



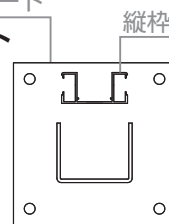
ベースプレート

5 セット



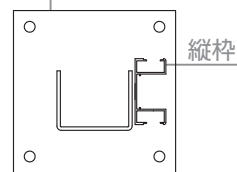
ベースプレート

5 セット



ベースプレート

5 セット



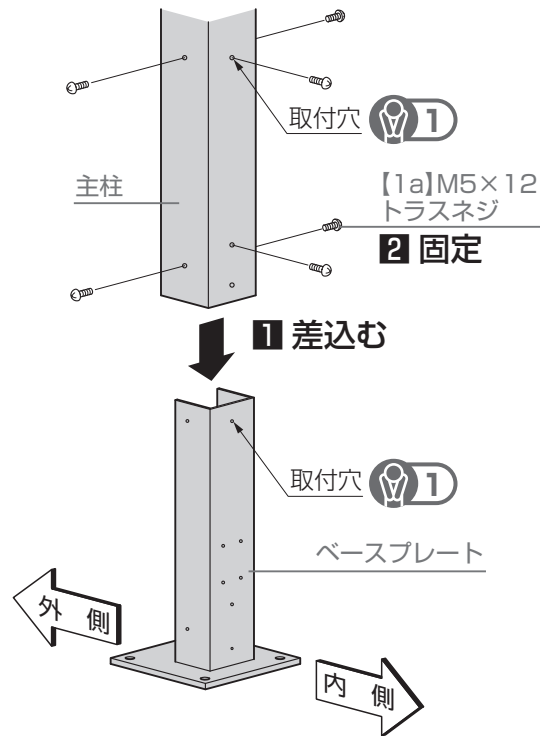
3 ベースプレートの取付け

1: 主柱をベースプレートに差込む

お願い 1

- ベースプレートと主柱の取付穴が合うようにしてください。

2: 主柱をベースプレートに【1a】M5×12
トラスネジで固定

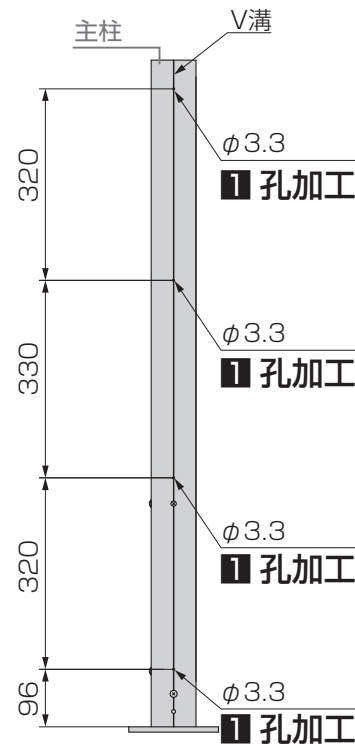


4 主柱の孔加工

1: V溝上にφ3.3の孔加工

補足

- 孔は縦枠取付用です。縦枠を取り付ける面にあけてください。



5 ビーム部の切断 ※フェンスを切詰めた場合の作業です。

お願い

- 取付説明書「フリーポールタイプ〈C468〉」「切詰端部カバー〈C470〉」「切詰用縦枠セット〈C471〉」で、フェンス本体を切詰めるときに、同じように上ビーム、上ビーム振れ止部材、下ビームも切断してください。

6 主柱の固定

6-1 門柱の固定

- 1: ベースプレートの孔に【4a】M8オールアンカーL=70を入れる
- 2: 水準器を使って主柱の水平、垂直を確認
- 3: レベル調整板を使って、水平、垂直を出す

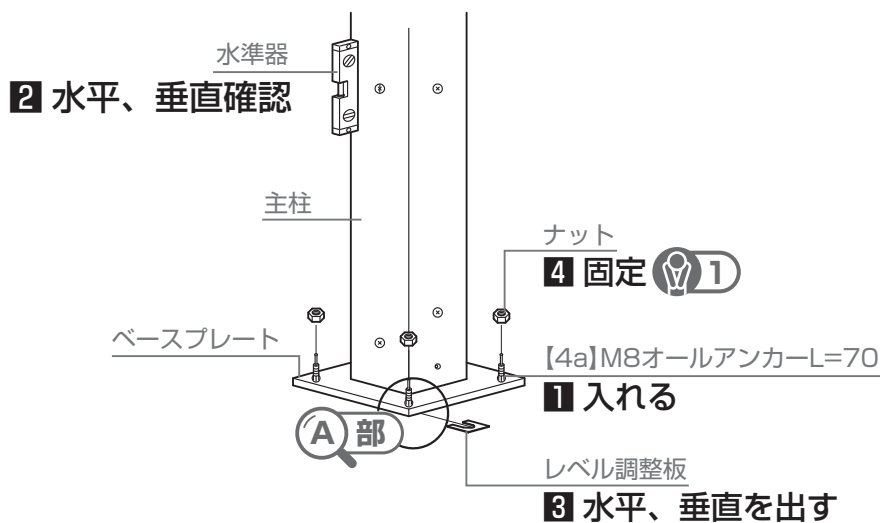
補足

- 厚さ1.2mmのレベル調整板が8枚入っています。レベル調整板は1ヶ所につき4枚まで使用できます。

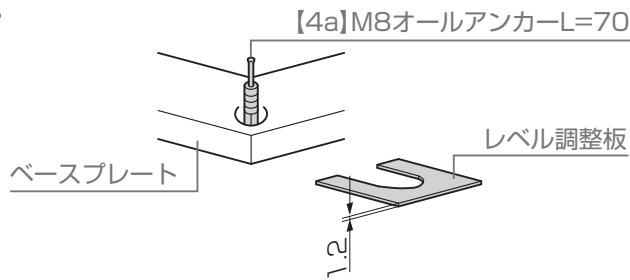
- 4: 【4a】M8オールアンカー L=70をナットで固定

お願い 1

- 2 オールアンカーの打込み** で外したナットを使用してください。



A部詳細図



6 支柱の固定

6-2 門柱袴の取付け

お願い

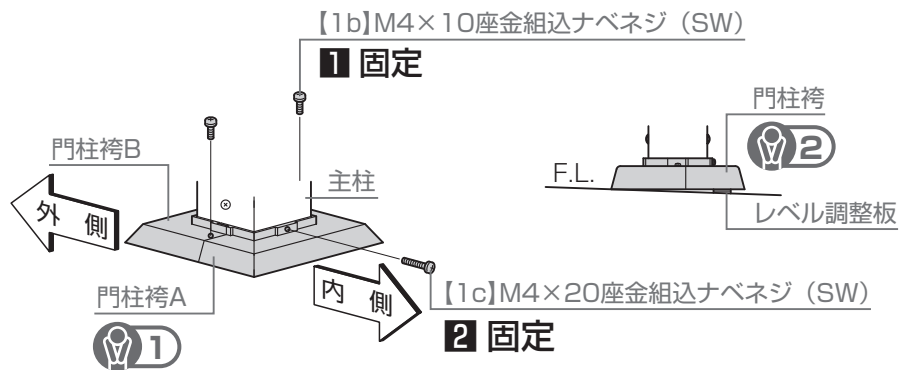
- 門柱袴の取付けは取説の順番をまもってください。ビームを取付け後では施工できなくなります。

- 1: 門柱袴Aと門柱袴Bを【1b】M4×10座金組込ナベネジ(SW)で固定

お願い 1

- 門柱袴Aは内側にしてください。

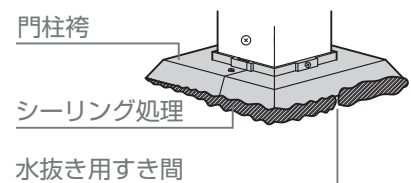
- 2: 門柱袴を【1c】M4×20座金組込ナベネジ(SW)で支柱に固定



お願い 2

▼門柱袴と床面のすき間が気になる場合▼

- 市販のシーリング剤でシーリング処理をしてください。
- 水勾配の下側に水抜き用のすき間をあけてください。



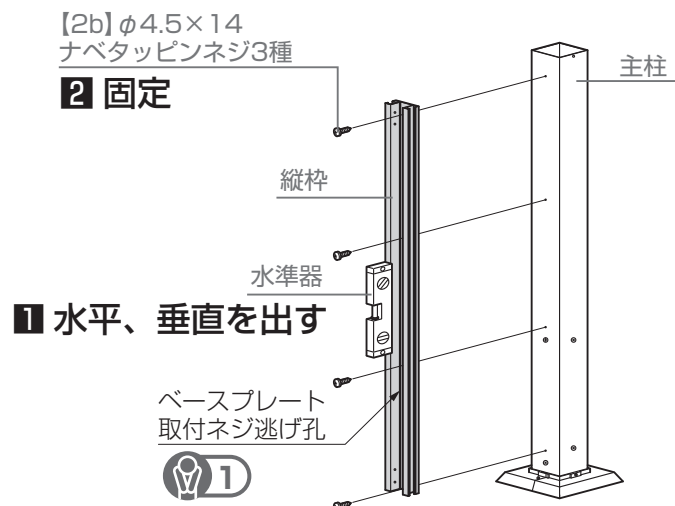
7 縦枠の取付け

- 1: 水準器を使って縦枠の水平、垂直を出す

お願い 1

- 縦枠は「ベースプレート取付ネジ逃げ孔」を下にしてください。

- 2: 縦枠を【2b】φ4.5×14ナベタッピンネジ3種で支柱に固定



8 ビームとフェンスの取付け

1: 下ビームを縦枠に差し込む

2: 下ビームを縦枠に [2c] φ4×13ナベドリルネジ3種で固定

お願い 1

- 下ビームのV溝が縦枠取付穴の中心にくるようにしてください。

3: フェンスを下ビームにのせる

補足 1

- 縦枠に固定した下ビームの上ののせます。

4: フェンス下線を縦枠に [2c] φ4×13ナベドリルネジ3種で固定

5: 上ビーム振れ止部材をフェンス上線に [2c] φ4×13ナベドリルネジ3種で固定

お願い 2

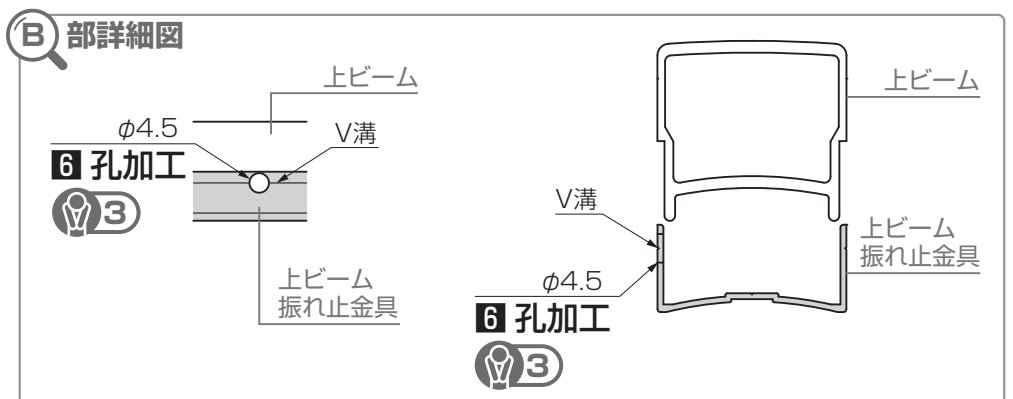
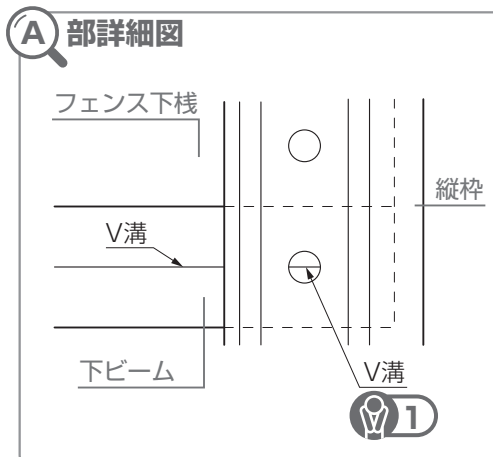
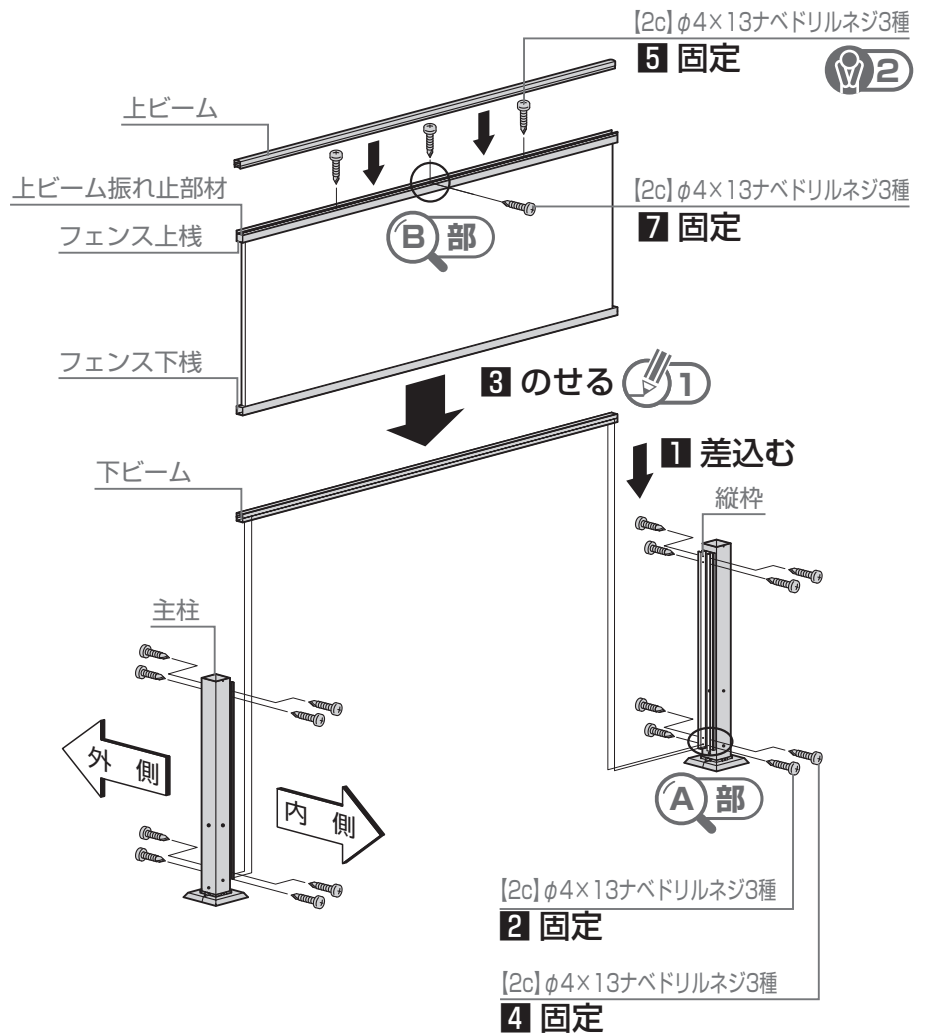
- 上ビーム振れ止部材を4等分する位置にネジを止めてください。

6: 上ビーム振れ止部材の内側中央にあるV溝上にφ4.5の孔加工

お願い 3

- 上ビームには孔をあけないでください。誤ってあけてしまわないように、上ビームを取付ける前に孔加工をおこなってください。
- 上ビーム振れ止部材を固定した時に、出た切粉を除去してください。

7: 上ビームを上ビーム振れ止部材に [2c] φ4×13ナベドリルネジ3種で固定



9 サイドカバー、縦枠キャップの取付け

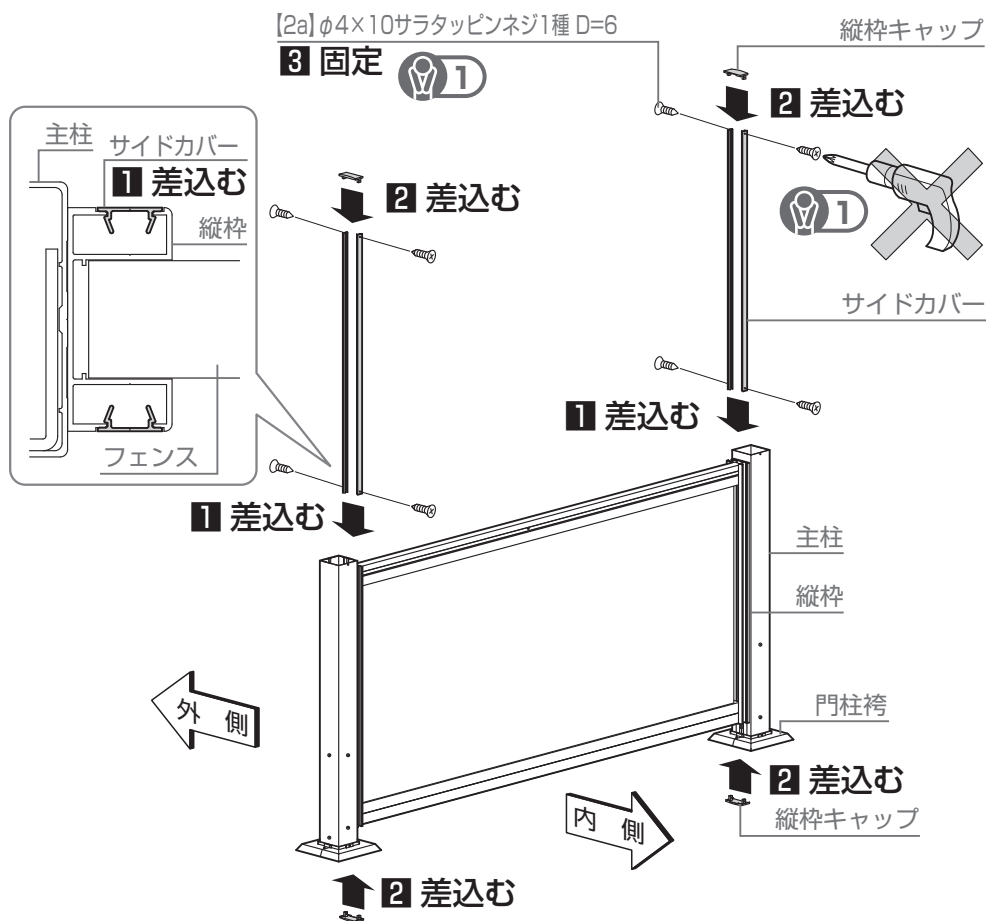
1: サイドカバーを縦枠に差込む

2: 縦枠キャップをサイドカバーに差込む

3: 縦枠キャップをサイドカバーに
[2a] φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6
で固定

お願い 1

●縦枠キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。



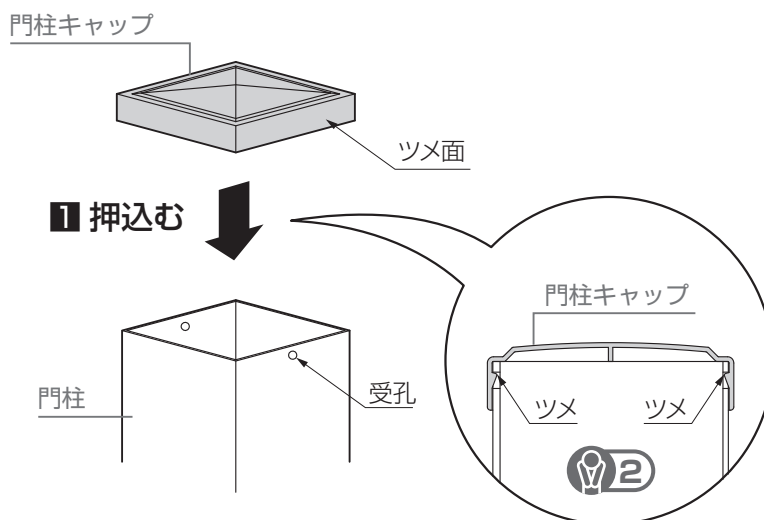
10 門柱キャップの取付け

1: 門柱キャップを門柱に押込む

お願い 2

●門柱キャップのツメと門柱の受孔がある面を合わせてください。
●確実にツメが引っ掛かるように押込んでください。

2: 門柱キャップを引っ張っても門柱キャップが抜けないことを確認



11 注意シール

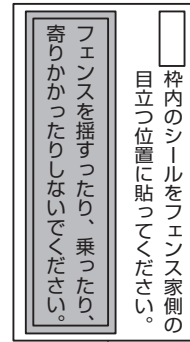
1:注意シールをフェンス本体家側、または柱に貼る

お願い

- 必ず注意シールを目立つ位置に貼ってください。

補足

- 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。



注意シール

梱包明細表

【1】 主柱		
名称	略 図	員 数
主柱		1
門柱キャップ		1
【1a】 M5×12トラスネジ		6
【1b】 M4×10座金組込ナベネジ (SW)		2
【1c】 M4×20座金組込ナベネジ (SW)		1

【2】 縦枠		
名称	略 図	員 数
縦枠		2
縦枠用サイドカバー		4
縦枠用キャップ		4
注意シール		1
【2a】 φ4×10サラタッピンネジ1種 D=6		8
【2b】 φ4.5×14ナベタッピンネジ3種		8
【2c】 φ4×13ナベドリルネジ3種		20

【3】 ビーム		
名称	略 図	員 数
上ビーム		1
下ビーム		1
上ビーム振れ止部材		1
商品名シール		1
取付説明書<C476>	—	1
取扱説明書<UC007>	—	1

【4】 ベースプレート吊元門柱・フェンス支柱用		
名称	略 図	員 数
ベースプレート		1
レベル調整板		8
門柱袴A		1
門柱袴B		1
【4a】 M8オールアンカー L=70		4

